

2019年度 群馬パース大学 FD 活動報告書

2019年度の組織改正により、新たにFD委員会が設置された。これにより、従来、評価委員会下部組織であるSD部会の所掌として位置づけられてきたFDに関する事項は、FD委員会が担うこととなった。前年度までの評価委員会SD部会におけるFD活動を継続するとともに、「群馬パース大学教育研修体系」に基づくファーストレベル2年目研修の初回開催および各学科におけるOJTの推進、授業相互見学の授業改善への積極的活用の支援、授業アンケートの新たな仕組みの検討、および、学生FD活動の実質化に取り組んだ。

国内の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、様々な制約を受けながら、可能な限りFD活動を継続するよう努めた。

以下のようなFD活動を推進したので、報告する。

I. 学生による授業アンケート

例年どおり、学生による授業アンケートを各学期終了時に実施した。2019年度の学部全体の回答率は前期72.8%、後期71.2%、前年度よりも前期は15.8%、後期は14.9%の大幅な低下となった。学年ごとの回答率をみると学年が上がるにつれ回答率が下がることが見受けられ、実施方法の改善、工夫の必要が認められた。

結果については、授業科目毎に「授業アンケート集計・分析結果シート」を作成して授業科目担当教員へ還元するとともに集計結果をホームページ上で公開し、また、アンケート結果に基づく授業改善計画の提出を、授業科目毎に担当する教員に求めた。

II. 学外実習評価アンケート

看護学科で8科目、理学療法学科で3科目、検査技術学科で4年生対象のアンケートを実施し、各学科内及び一部実習施設との間で、結果に基づき次期の実習実施方法の検討が行われた。また、臨床工学科の実習開始に向け、アンケート作成及び調査実施方法について、同学科からの提案をもとに意見交換を行った。

III. ピアレビュー

全教員が年間を通して1回以上参加することを必須として取り組んだ。また、2019年度後期から、授業公開を原則必須として公開希望調査を廃止することにより、授業見学期間の確保を図った。しかし、常勤教員96名のうち授業見学を行った教員は49名(51.0%)で、前年度から16%低下した。見学を受け入れた教員の振り返りシートの提出率は63.0%であった。参加者内訳に職位による大きな差は見られなかったが、所属による差が若干認められ、授業見学の時期は、極端に1月に集中していた。参加した教員は、自身の授業計画・実践に有益な情報を獲得していた。

IV. 学生FD推進

2019年10月20日(日)流星祭に合わせて学生間交流事業が開催され、学生代表者より実施報告書が提出されるとともに、次年度学生FD係長(仮)設置の意向がFD委員会宛に伝えられた。

V. FD研修会

全教員を対象とするFD研修会を次のとおり開催した。

第1回 日時：2019年5月31日(金) 13:20~14:30

場所：群馬パース大学1号館8階PAZ Hall

内容：今後の医学教育(医療関連職種教育)の流れ(講演)

講師：岐阜大学 医学教育開発センター センター長 ・ バーチャルスキル部門 教授 藤崎 和彦 先生

<研修会の様子>



VI. 教育研修体系による研修

平成30年度から開始した群馬パース大学教育研修体系に基づく研修会の第2回研修会として、新任期教員を対象とする「2019年度 教育研修体系による研修：ファーストレベル2年目研修」を以下のとおり開催した。

全体テーマ「カリキュラムの理解と授業科目の企画・運営・評価」

第1回 日時：2019年5月31日（金）14:50～16:30

場所：群馬パース大学1号館8階803教室

内容：「医学教育の基本（カリキュラムプランニングの基礎）」（ワークショップ）

講師：岐阜大学 医学教育開発センター センター長 ・ バーチャルスキル部門 教授 藤崎 和彦 先生

第2回 日時：2020年2月21日（金）9:00～18:00

場所：群馬パース大学4号館12階KANBE Hall

内容：「アウトカム基盤型教育に各学科はどう対応するのか」（ワークショップ）

講師：岐阜大学 医学教育開発研究センター センター長・教授 藤崎 和彦 先生

<研修の様子>

●第1回



●第2回

